

Year: 2007

Location: Italy

Program: 展示

アルテック・パビリオン



アルヴァ・アアルトの家具で有名なフィンランドのアルテック社より、ミラノ・サローネのパビリオン設計の依頼を受けた。依頼条件は、フィンランドの林産品 紙製造会社UPM社の製品「UPM Profi」を用いるというものである。この「UPM Profi」は、ラベル生産時に排出される、紙とプラスチックの廃材を再利用した新素材で、現在、梱包用のコーナー補強材として生産されている一辺58mmのLアングルと、試作的につくられた床デッキ材の2種類のみがある。まず素材の強度実験を行ったところ、この素材は圧縮強度に比べて曲げ強度が弱いことが分かった。そこで、必要強度に合わせてLアングルを組み合わせ、2本で「T型」と4本で「十字型」を部位により使い分け、トラス状の柱と梁を構成し、シンプルな切妻造の構造とした。屋根と外壁は、同じくアングルをジグザグに組み、折板状とした。